

2020年4月6日

Press Release

共和薬品工業株式会社

ドイツ・ニューロケアグループとの
資本提携に関する契約締結のお知らせ

共和薬品工業株式会社(本社：大阪府、代表取締役社長：角田礼昭、以下共和薬品)は、3月27日、ニューロケアグループ(本社：ドイツミュンヘン、代表：Thomas Mechtersheimer、以下ニューロケア)が新たに発行する株式を取得し、資本参加する契約を締結したことをお知らせします。

ニューロケアは、定量的脳波測定(QEEG)、睡眠評価、rTMS(反復経頭蓋磁気刺激療法)、ニューロフィードバック(脳トレーニングの一種)のソリューションを持ち、これらと心理療法、薬物治療などを組み合わせることにより、うつ病、双極性障害、注意欠陥多動性障害(ADHD)、強迫性障害等の精神疾患の患者さんに対して、科学的な評価に基づいた診断・個別化治療(Precision Medicine)を提供しております。

共和薬品は、経営ビジョン「CNSトータルソリューションカンパニーを目指して」を掲げ、CNS(中枢神経系)領域を中心に、医薬品にとどまらない製品・サービスの提供を通じて、患者さんとそのご家族、医療従事者の皆さん、そして社会に貢献できる企業を目指し、様々な挑戦をしており、今回の資本提携は、その方針に沿ったものです。

■ neuroCare Group について URL: www.neurocaregroup.com/

ニューロケアは、急成長中の垂直統合型企業で、精神疾患の改善に向けて、個別化治療を提供しています。現在、ドイツ、オーストラリア、オランダ、米国で100名を超える従業員、16軒のクリニックにて、年間約2,000名の患者さんに治療を施しており、その中核となる技術はドイツで開発されています。

■ 共和薬品工業株式会社について URL: <http://www.kyowayakuhin.co.jp/>

共和薬品は、1954年に創業、CNS領域に焦点を当て「アメル」ブランドのジェネリック医薬品に加え、塩野義製薬から販売移管した長期収載品、さらには双極性障害のうつ症状治療薬の新薬販売へと、より幅広い選択肢を提供することでCNS領域での更なる展開を進めています。2019年12月には、LBO(レバレッジド・バイアウト)方式にてヘルスケア領域に強みを持つプライベートエクイティファンドのユニゾン・キャピタルグループに株式譲渡が行なわれ、印ルピンググループからの独立を果たしました。

<報道関係者のお問合せ先>

共和薬品工業株式会社 社長室 Email: kyowa-info@kyowayakuhin.co.jp

※テレワークを推奨しており、問い合わせは上記アドレスにメールにてご送付いただきます様、お願い申し上げます。